

愛知みずほ大学 数理・データサイエンス教育 2022年度 自己点検・評価結果 <<概要>>

2022年度における「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」を構成する授業科目「データサイエンス」について点検・評価を行った。

1. 点検・評価に用いた資料等

- ①上記科目の履修学生の自己評価（授業科目レベルの学習成果に関しての自己評価）結果
- ②上記科目の授業アンケート結果
- ③上記科目のシラバス
- ④上記科目の履修状況に関するデータ

2. 教育プログラムの履修・終了状況・学習成果の把握・改善

2022年度より開講し、1年生後期より当該プログラムの履修機会を得られるように配置した。1年目ということもあり、プログラムの履修率は高くない。

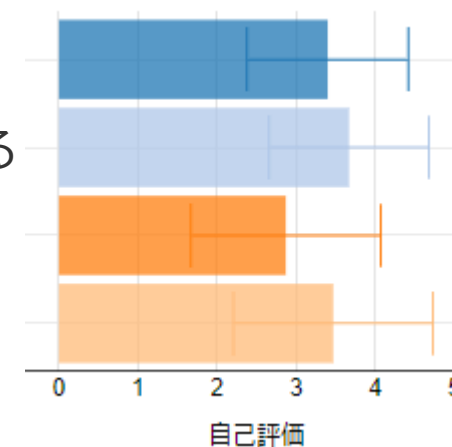
3. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

愛知みずほ大学、愛知みずほ短期大学の連携科目として開講しており、学内で周知されている。将来的に必修科目とすることを目指しており、現在は選択科目として課題の抽出と改善を図っている。

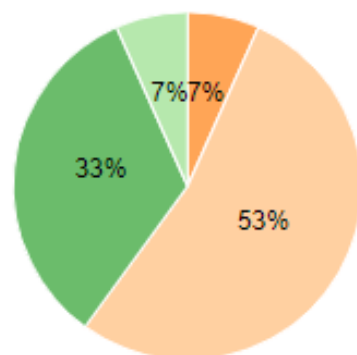
4. 学生の自己評価及び授業アンケートの結果

到達目標

- No.1 社会におけるデータ・AI利活用を理解し説明できる
- No.2 データを正しく利活用するための方法や留意点を理解し説明できる
- No.3 データ処理や統計解析の基本を理解し説明できる
- No.4 日常生活でデータサイエンスの利活用を考えることができる



・この授業全体の満足度を5段階で評価してください。



- 1. 不満
- 2. どちらかと不満
- 3. どちらとも言えない
- 4. どちらかと言うと満足
- 5. 満足
- 6. 受講しなかった（履修登録抹消手続き...）

5. 自己点検・評価結果の総括

自己点検・評価を実施した結果、先述の通り1年目ということもありプログラムの履修者は学校全体から見れば高くない。しかし、学生の自己評価および授業アンケート調査から、学生の満足度および理解度は総じて高い。一方でデータ処理や統計解析の部分に関しては「内容が難しい」と答えた学生がおり、到達目標No.3に対する自己評価の低さに表れていた。今後、学生の学修意欲の向上や自己評価の向上を目的として、プログラムおよび授業の改善が必要である。